

今月の一言 いよいよ来月は大手企業交渉です。大手企業の現場で働いている方、情報をお寄せください！

## 緊急の大手現場宣伝を実施！！

7月上旬、「東京土建/現場の情報交流LINE」に、品川開発プロジェクト4街区南棟新築現場（元請・大林組）に従事する組合員から「休憩所が暑くて困っている」「詰め所が広すぎて涼しくない」「自販機が朝から売り切れ」など、現場の改善要求の声が寄せられました。大林組に改善を要求したところ、「室外機の配置を移動」「エアコン2台、大型扇風機を増設した」と回答がありましたが、引き続き現場から「何も変わっていない」「（大林組は）偽っている」「ただ言い逃れてる」などの訴えが続き、元請との交渉を続けるも現場からの声に変わりはありませんでした。

改善の声を集めて元請に突きつけるため、7月30日と8月7日に現場宣伝を実施。両日あわせ450枚のチラシと飲み物を配布した結果、「大林は問題を引き延ばして有耶無耶にしようとしている」「お昼を食べる所もない」など多くの現場従事者の声が寄せられています。8月9日には発注者であるJR東日本にも改善を要求。引き続き同現場での継続的な宣伝を実施し、現場の改善要求を元請に訴えていきます。

## 7月30日、麴町でまたも落下・死亡事故発生

### 元請は根本原因の究明と公開を

千代田区麴町の（仮称）弘済会館ビル新築工事現場（元請・清水建設）で、20代の男性作業員が屋上から10階まで約9メートル落下し死亡するという痛ましい事故が発生しました。清水建設によれば、作業員は1次下請に所属し床の鉄筋を組む作業を担当。屋上の鉄骨梁に設置した鋼製の作業用床が外れ、置いていた鉄筋と共に落下したといえます。昨年の大林組の八重洲事故と同様、清水建設には同事故の真相を明らかにすることを求めています。同現場に入場されている方など、現場情報を東京土建渋谷支部までお寄せください。

## 中小企業庁、価格交渉・転嫁の企業姿勢を公表

### 「ゼネコン高・住宅企業低」の傾向

8月2日、中小企業庁は、取引先の中小企業との価格交渉や価格転嫁に向けた発注元の大企業の姿勢を示すア～エの4段階評価を公表しました。建設業で公表されたのは43社で、価格交渉・転嫁いずれも最も高い評価である「ア」となったのは鹿島道路の1社でした。価格交渉について最も高い「ア」の評価になったのは19社で、そのうち13社がゼネコンで、サブコン、住宅企業と比べゼネコンで交渉が多くなされている傾向にあります。一方、最も低い評価である「エ」になった企業として、一条工務店とタマホームが挙げられています。価格転嫁での「ア」も鹿島道路のみで、次位の「イ」が23社（うちゼネコン15社）、「ウ」は19社（うち住宅企業11社）で、最低評価の「エ」こそないものの、住宅企業で転嫁が低調な傾向です。

## 各分会の野丁場群会議の日程

町場群に続き野丁場群も分会ごとに会議・交流会を開催しています。土建タイムを読み合わせ、現場の状況を交流しましょう。大手企業交渉に向けた情報をお待ちしています。渋谷支部の交渉先は奥村組です！

北部：9月18日 西部：9月19日 東部：9月未定 南部：9月未定

お読みになった方はお名前をご記入の上、渋谷支部までご返送ください 氏名：